



# 文しょうパズル

①  
〜  
⑩

ことばをならびかえて、

正しい文ぶんを書かこう。

# ぶん 文しようパズル

①



なまえ

ひだり  
左のことばをじゅんじょよくならべて、  
ただ  
正しいぶんぶん文を書こう。点(・)や丸(○)もわすれずに。

A

おかあさんが、

くれました。

こえをかけて

やさしく

B

ともだちの

あそびに

いえへ

わたしは、

いきました。

# ぶん 文しようパズル

②



なまえ

<sup>ひだり</sup>左のことはをじゅんじょよくならべて、<sup>ただ</sup>正しい文を<sup>ぶん</sup>書<sup>か</sup>こう。点<sup>てん</sup>(・)や丸<sup>まる</sup>(○)もわすれずに。

A

おれました。

えんぴつの

ぽぎつと

しんが、

B

いくと、

ないて

おとこのこが、

だれかが

はらっぱまで

いました。

# ぶん 文しょうパズル

③



ひだり  
左のことはをじゅんじょよくならべて、  
ただ  
正しいぶんぶん文を書こう。点(てん)や丸(まる)もわすれずに。

なまえ

A

さげびました。

みせにいる

おおごえで

こどもたちは、

B

もうひとつの

くまは、

へやへ

うびきの

いきました。

# ぶん 文しょうパズル

④



なまえ

ひだり  
左のことはをじゅんじょよくならべて、  
ただ  
正しいぶんぶん文を書こう。点(てん)や丸(まる)もわすれずに。

A

おおかみは、

こたえました。

つぶったまま

目を

(目め)

B

すわりました。

がまんして

じぶんの

ぼくは、

せきに

# ぶん 文しようパズル

⑤



なまえ

ひだり  
左のことはをじゅんじょよくならべて、  
ただ  
正しいぶんぶん文を書こう。点(てん)や丸(まる)もわすれずに。

A

ありがとうございます、

すれちがいました。

しっかりせおって、

だいじなにもつを

B

くまさんは、

ふんだら

すれちがいました。

たいへんと、

そっと

ありがとうございます

# 文<sup>ぶん</sup>しょうパズル

⑥



左<sup>ひだり</sup>のことばをじゅんじょよくならべて、  
正<sup>ただ</sup>しい文<sup>ぶん</sup>を書<sup>か</sup>こう。点<sup>てん</sup>(・)や丸<sup>まる</sup>(○)もわすれずに。

なまえ

A

ながれぼしは、

のぼって

そらへそらへと

けむりにのって、

いきました。

B

すずめは、

たべています。

くさのたねを

つついて

みつけて、

じめんを

# 文<sup>ぶん</sup>しょうパズル

⑦



なまえ

左<sup>ひだり</sup>のことばをじゅんじょよくならべて、正<sup>ただ</sup>しい文<sup>ぶん</sup>を書<sup>か</sup>こう。点<sup>てん</sup>(・)や丸<sup>まる</sup>(○)もわすれずに。

A

できました。

かぶが

げんきのいい、

とてつもなく

あまそうな、

おおきな

B

はさみが

おどろきました。

おおきくて

ちからもちなので、

ざりがには、



# ぶん 文しようパズル

⑧



なまえ

ひだり  
左のことはをじゅんじょよくならべて、  
ただ  
正しい文をぶん書こう。点(てん)や丸(まる)もわすれずに。

A

つばさを

すずめは、

おとしています。

からだについた

よごれを

うごかして、

B

どんだん

くろいくもが、

雨を

わっさわっさと

あつまって、

ふらせました。

(雨Ⅱあめ)

# ぶん 文しようパズル

⑨



なまえ

ひだり  
左のことばをじゅんじょよくならべて、  
ただ  
正しいぶん  
文を書こう。点(てん)や丸(まる)もわすれずに。

A

あつというまに、

たくさんの

火に

(火Ⅱひ)

つつまれました。

みどりの木が、

(木Ⅱき)

B

ねずみは、

なかみを

あなを

くるみの

からに

たべます。

あけて、

# 文<sup>ぶん</sup>しょうパズル

⑩



なまえ

左<sup>ひだり</sup>のこ<sup>ひだり</sup>とばをじゅんじょよくならべて、正<sup>ただ</sup>しい文<sup>ぶん</sup>を書<sup>か</sup>こう。点<sup>てん</sup>(・)や丸<sup>まる</sup>(○)もわすれずに。

A

りすは、

しんを

のこします。

たべて、

まわりだけを

まつぼっくりの

※りすは、まつぼっくりの  
しんをたべません。

B

みつかります。

山<sup>やま</sup>よりもりでは、

ど<sup>ど</sup>う<sup>どう</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>つ<sup>つ</sup>の

(山<sup>やま</sup>＝やま)

たべたあとが

いろいろな

## 【こたえ】

※このとおりでなくても、文<sup>ぶん</sup>のいみがあっていれば、正<sup>せい</sup>かいです。

① A おかあさんが、やさしく こえをかけて くれました。

① B わたしは、ともだちの いえへ あそびに いきました。

② A えんぴつの しんが、ぼきつと おれました。

② B おとこのこが はらっぱまで いくと、だれかが なくて いました。

③ A みせにいる こどもたちは、おおごえで さけびました。

③ B 3びきの くまは、もうひとつの へやへ いきました。

④ A おおかみは、目を つぶったまま こたえました。

④ B ぼくは、がまんして じぶんの せきに すわりました。

## 【こたえ】

※このとおりでなくても、文<sup>ぶん</sup>のいみがあっていれば、正<sup>せい</sup>かいです。

⑤ A ありさんは、だいじなにもつを しっかりせおって、すれちがいました。

⑤ B くまさんは、ありさんを ふんだら たいへんと、そっと すれちがいました。

⑥ A ながればしは、けむりにのって、そらへそらへと のぼって いきました。

⑥ B すずめは、じめんを つついて くさのたねを みつけて、たべています。

⑦ A あまそうな、げんきのいい、とてつもなく おおきな かぶが できました。

⑦ B ざりがには、はさみが おおきくて ちからもちなので、おどろきました。

⑧ A すずめは、つばさを うごかして、からだについた よごれを おとしています。

⑧ B くろいくもが、わっさわっさと あつまって、どんどん 雨を ふらせました。

## 【こたえ】

※このとおりでなくても、文<sup>ぶん</sup>のいみがあっ<sup>あ</sup>てい<sup>い</sup>れば、正<sup>せい</sup>かいです。

⑨ A たくさんの みどりの木が、 あっというまに、火に つつまれました。

⑨ B ねずみは、 くるみの からに あなを あけて、 なかみを たべます。

⑩ A りすは、 まつぼっくりの まわりだけを たべて、 しんを のこします。

⑩ B 山やもりでは、いろいろな どうぶつの たべたあとが みつかります。